

歴

史資料館だより



No.117
教育委員会文化財課
文化財グループ
(☎58-5111・75-3111代表)

文化財課
ホームページ



申し込み
はコチラ

歴史講座

続・桜川市の歴史をたどる

(近現代編)



昨年度開催した連続歴史講座「桜川市の歴史をたどる」全3回の講座で、合計約170名の方に受講いただきました。

今年はその続きとして、現代の桜川市についてご紹介します。明治維新でなにが変わったのか、桜川市域でどんなことが起きたのか、現代につながる流れを考えていきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

■日時／10月11日(日) 10時～11時30分

■場所／真壁伝承館まかべホール

■講師／文化財課職員

■参加費／無料

■定員／80名(先着順)

■申込方法／文化財課ホームページの申請フォームから申し込み

■問合先／文化財課(真壁伝承館内) ☎58-1111・75-3111代表

歴史コラムも随時更新中!

歴史コラム 桜川を識る



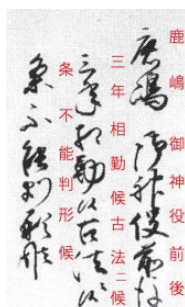
鹿島神宮と真壁氏



真壁氏が支配した地域の各神社には鹿島の神様が祀られています。その総本社は鹿嶋市の鹿島神宮です。今年の9月1日～3日には12年に1度の式年大祭が行われますが、かつては「七月御祭」と呼ばれ、毎年7月に催されていました。古代には、天皇が大使役を派遣し、祭礼を執行させましたが、中世に入ると常陸平氏の流れを汲む7家が巡役で大使役を勤めるようになりました。常陸平氏とは、平将門を倒した平貞盛の弟繁盛に始まる武家で、そのうち7家とは、小栗氏、吉田氏、東条氏、鹿島氏、国府(大塚)氏、行方氏、そして真壁氏のことを指します。

このことを裏付ける記録が、真壁文書にも残されています。戦国時代末期の「真壁

氏幹書状」(真壁文書)には、「鹿島御神役、前後三年相勤め候、古法に候条、判形能わず候」とあります。前後3年は鹿島大使役を勤めているので、昔からのしきたりに倣って、花押(いわゆるサイン・捺印)をすることはできません、という意味です。実は、神役中の文書に花押がないというのは真壁氏以外の古文書ではほとんど見られません。氏幹が伝統を守りながら鹿島大使役を勤めていたことがわかります。



真壁氏幹書状

お子様の成長について、誰にも相談できず悩まれていますか?

放課後等デイサービス

こどもサークル

保護者も参加できるイベントを開催しています!

with 鹿嶋義塾大学 ペアレントカフェ
with 筑波大学 子育て相談会
with 日本体育大学 親子体操教室
with 鹿島アントラーズ サッカー教室

with ANIMA 移動動物園
with ユニバーサル 野球大会
with ドローン サッカー教室

こどもサークル桜川 ☎0296-73-6364 見学・体験受付中! お気軽にお問い合わせください

桜川市御領1-39 【営業時間】9:00～18:00【営業日】月～土曜、祝日 対象児童 小学1年～高校3年

例えばこんなことが気になったら...

- 発音が不明瞭
- 動きがぎこちない
- 落ち着きがなく、集中して遊べない
- 名前を呼んでも振り向かない
- 細かい作業・全身を動かすことが苦手

「中小企業からITを元気にプロジェクト」
公式アンバサダー ウェンツ瑛士